

第4回不法投棄対策工学講座シンポジウム (第20回環境システム地域シンポジウム)

題目：「不法投棄現場修復対策のフォローアップ - 望まれる技術と制度 - 」

日程：2009年9月11日(金) 13:30～17:00

場所：北海道大学 クラーク会館 講堂(札幌市北区北8条西8丁目)

主催：北海道大学大学院工学研究科 循環計画システム研究室/不法投棄対策工学講座

共催：土木学会環境システム委員会

後援：廃棄物資源循環学会北海道支部

趣旨

香川県豊島や青森・岩手県境の不法投棄事件の後、この事案を含めて多くの大規模不法投棄事案の修復が進められてきました。しかし、地域住民の安全・安心を確保するためには、的確なモニタリングによる修復効果の評価が重要であり、必要に応じて、再調査・解析に基づく新たな修復を行うなどのフォローアップが重要となります。

そこで、本シンポジウムでは、この3年間の不法投棄現場修復対策に関する取り組みの総括を報告させて頂くとともに、その活動成果の評価と成果活用の期待について、企業側からご報告頂きます。また、今後の新たな問題提起として、不法投棄現場修復におけるフォローアップの必要性とその内在する課題について、経験豊富な専門家をお招きして意見交換を行います。

プログラム

1. 挨拶(13:30～13:35)・・・不法投棄対策工学講座 客員教授 西 則雄
- 第1部 3年間の活動の総括
2. 不法投棄対策工学講座の活動総括(13:35～14:05)
・・・不法投棄対策工学講座 助教 金 相烈
- 質疑応答(14:05～14:15)
3. 活動成果の評価と成果活用の期待(14:15～15:15)
・・・各寄附会社の代表者(8名)
4. フォローアップの必要性(問題提起)(15:15～15:35)
・・・循環計画システム研究室 助教 石井一英
- 休憩(15:35～15:50)
- 第2部 今後の展開 - 不法投棄現場修復対策のフォローアップ -
5. パネルディスカッション(15:50～16:55)
コーディネーター：古市徹(北大、循環計画システム研究室 教授)
パネルリスト：
和田卓也((株)建設技術研究所)、峠 和男((株)大林組)、西田憲一(三重県)、
鎌田啓一(前青森県)、石井一英(北海道大学)、計5名
6. 挨拶(16:55～17:00)・・・循環計画システム研究室 教授 古市 徹